

## パネルディスカッション1

### 「P-CAB を第一選択とした GERD 診療の可否」

司会 河合 隆（東京医科大学消化器内視鏡学講座）

春日井 邦夫（愛知医科大学消化管内科）

GERD 診療ガイドラインでは PPI が GERD 治療の第一選択薬として推奨されている。2015 年に登場した P-CAB は強力かつ迅速な新たな酸分泌抑制薬であり、GERD における早期症状改善効果とともに 4 週間の初期治療、軽症例 GERD に対する維持療法としてのオンデマンド療法、さらには PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する高い治癒効果などが報告されている。P-CAB がわが国において GERD 診療におけるの第一選択となるか、既存の PPI 療法との比較、消化管運動改善薬、漢方薬などの追加投与の必要性を含め、本セッションでは、この新たな武器を適切かつ安全に使用し患者に大きなメリットとなる GERD 診療のありかたについて議論したい。